

【証券コード：6728】

# 決算説明資料

## 2017年度第1四半期（2017年7月～2017年9月）

2017年11月10日  
株式会社 アルバック

## ◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）・半導体・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆本資料における表示方法について

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q（累計）： 第2四半期連結累計期間

2Q： 第2四半期連結会計期間

# 2017年度第1四半期連結業績概要

□ 受注高 810億円（前年同期比 +62%）

- FPD・PV製造装置をはじめ、全ての品目で前年同期を上回る

□ 売上高 609億円（前年同期比 +22%）

- FPD・PV、半導体・電子部品製造装置を中心に、前年同期を上回る

□ 営業利益 89億円（前年同期比 +39%）

- 各利益項目とも、高水準で推移し、前年同期を上回る

□ 上期・通期業績予想を上方修正

	上期		通期	
売上高	1,460 億円	(+60 億円)	2,450 億円	(+60 億円)
営業利益	170 億円	(+20 億円)	330 億円	(+20 億円)
当期利益	135 億円	(+20 億円)	275 億円	(+20 億円)

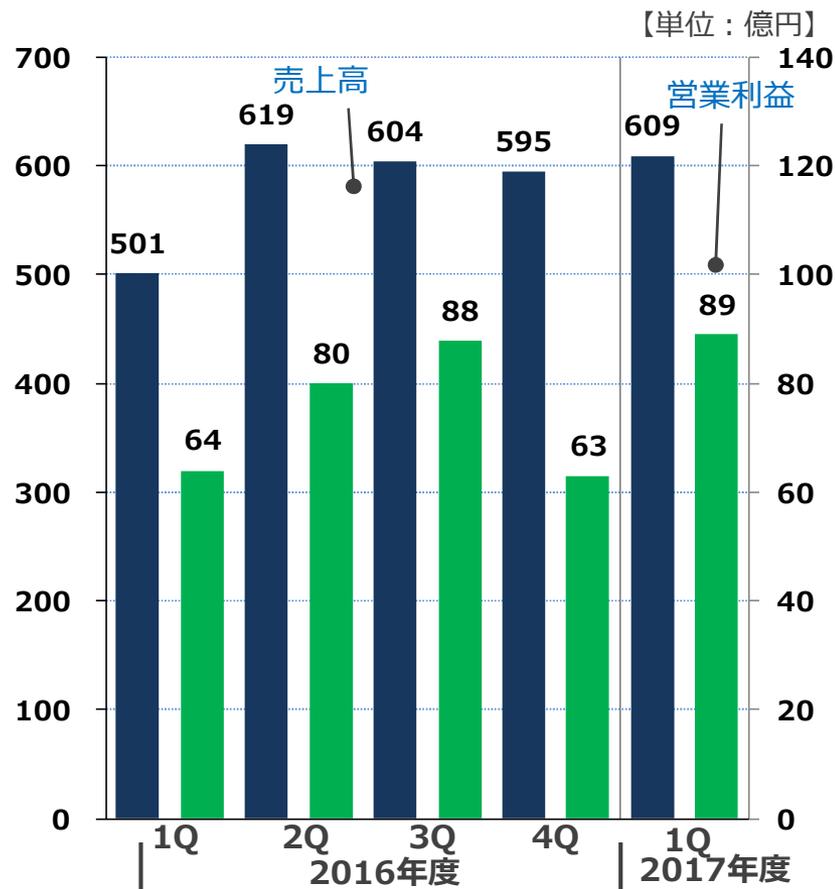
# 2017年度1Q連結業績概要

- 受注高は、スマートフォン向けOLED（有機EL）や大型TV向けLCD（液晶）の大型案件が重なったこともあり、前年同期を大幅に上回る
- 売上高は、FPD・PV製造装置に加え、半導体・電子部品製造装置が増加し、前年同期比22%増
- 売上増に伴い、各利益項目も前年同期を上回る

【単位：億円】

	2016年度 実績	2017年度	
	1Q	1Q	対前年同期 増減率
受注高	500	810	61.9%
売上高	501	609	21.7%
営業利益	64	89	38.6%
率	12.8%	14.6%	
経常利益	61	92	49.2%
率	12.3%	15.1%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	51	63	24.7%
率	10.1%	10.4%	

売上高と営業利益の推移（四半期毎）

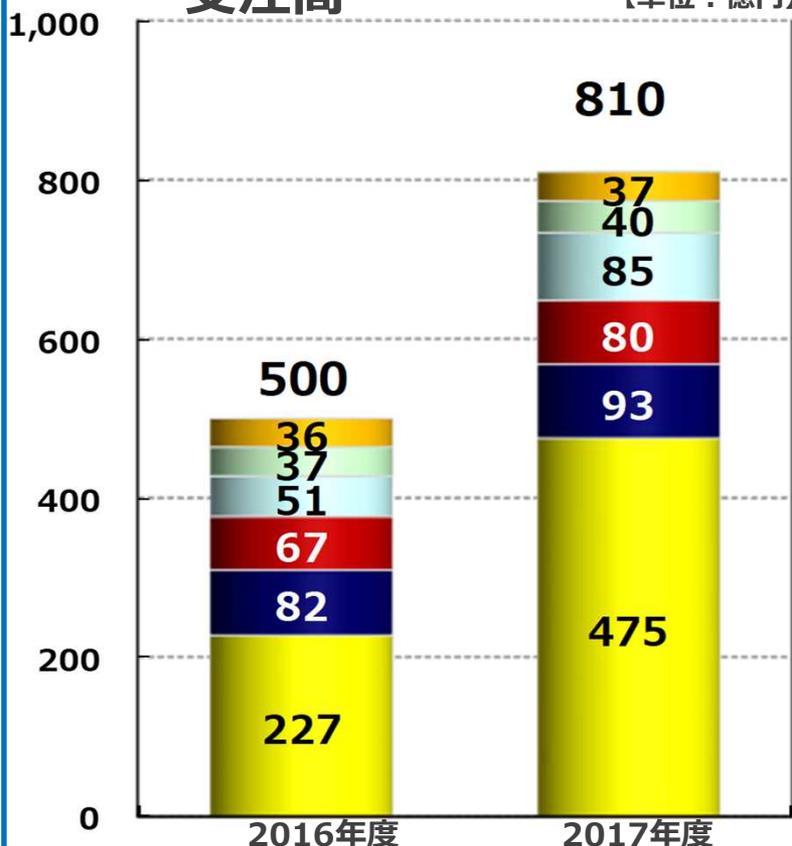


# 2017年度1Q連結業績概要 (品目別受注高・売上高の実績)

- FPD・PV製造装置：スマートフォン向けOLEDや大型TV向けLCDの大型案件が、重なったことにより、受注高が大幅に増加
- 半導体・電子部品製造装置：メモリ（NAND・DRAM）向け投資を中心に増加
- コンポーネント：装置需要の増加に伴い増加

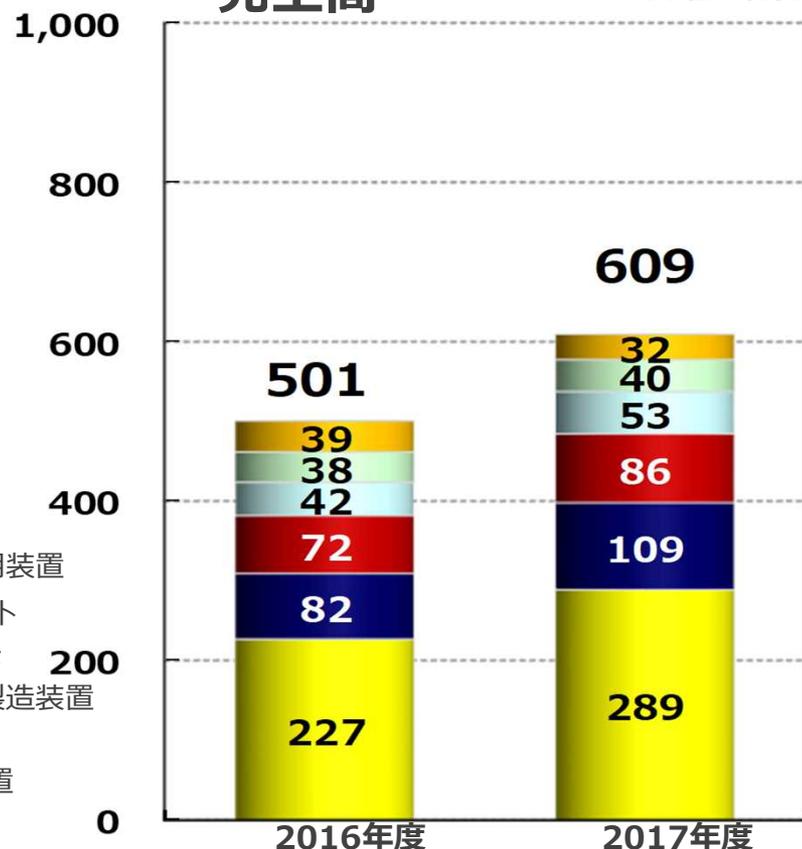
## 受注高

【単位：億円】



## 売上高

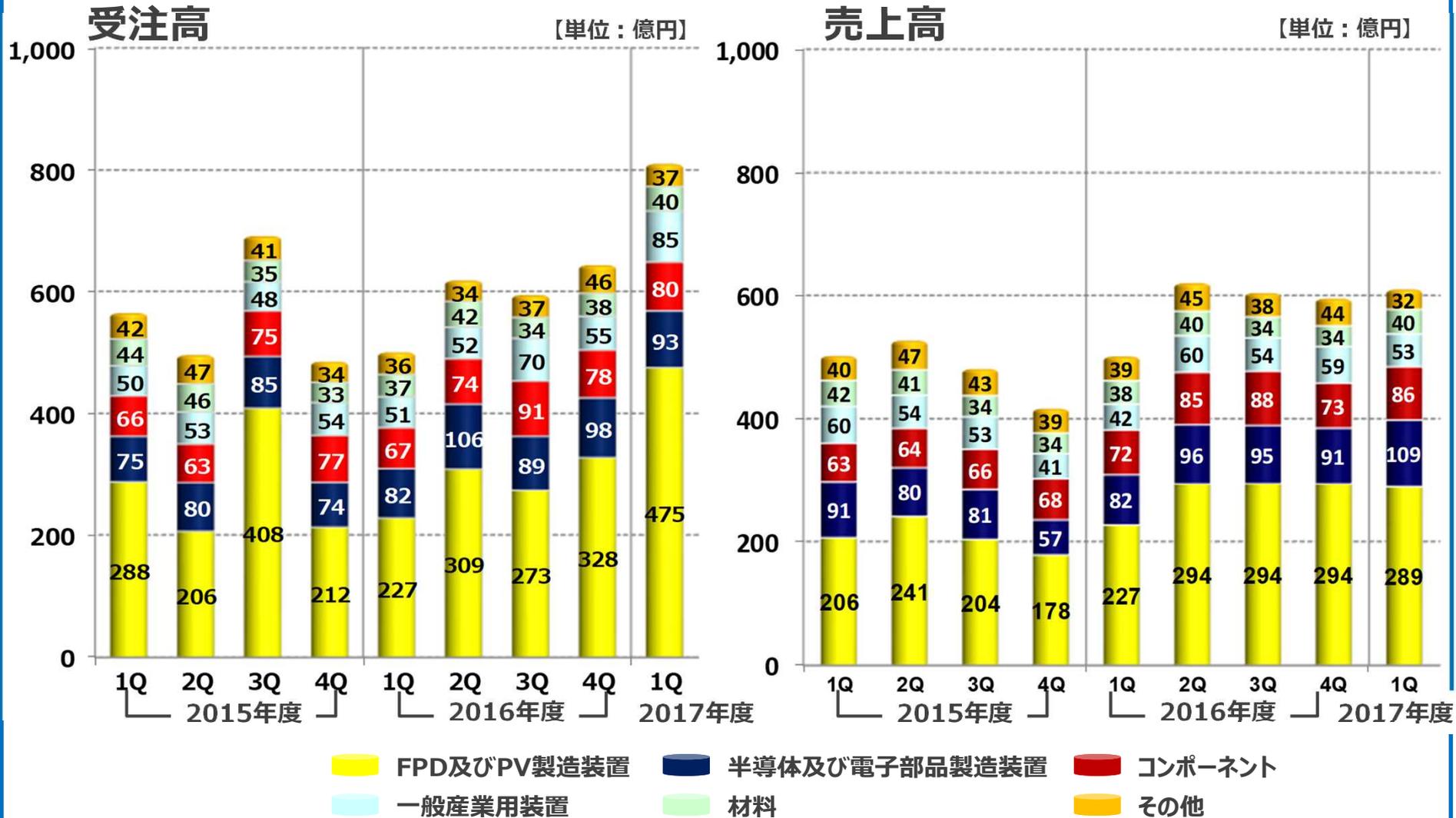
【単位：億円】



- その他
- 材料
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD及びPV製造装置

# 2017年度1Q連結業績概要 (品目別受注高・売上高四半期推移)

・ 受注高、売上高ともに、引き続き高水準で推移

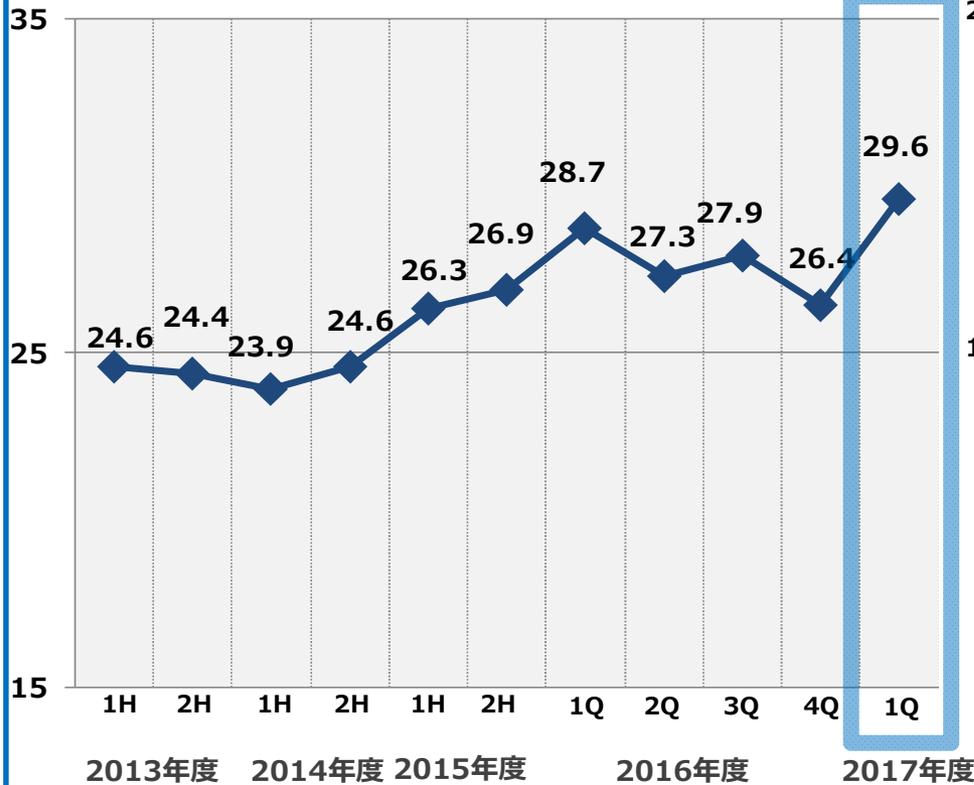


# 2017年度1Q連結業績概要 (利益率の推移)

- 売上総利益率、営業利益率とも、高水準で推移

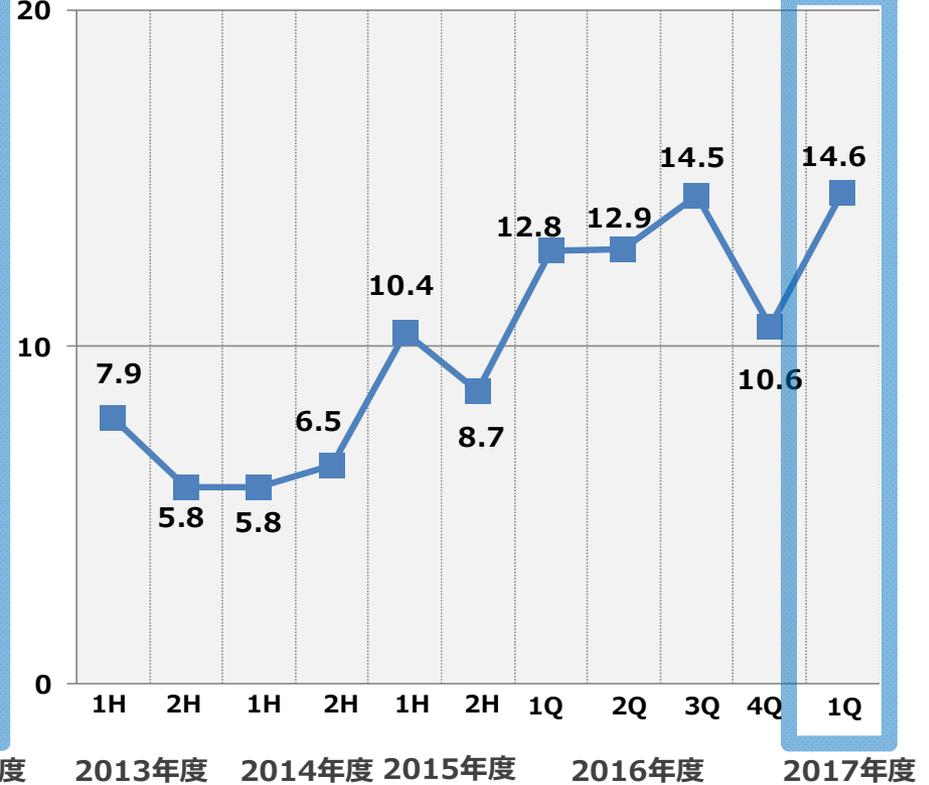
## 売上総利益率の推移

【単位：％】



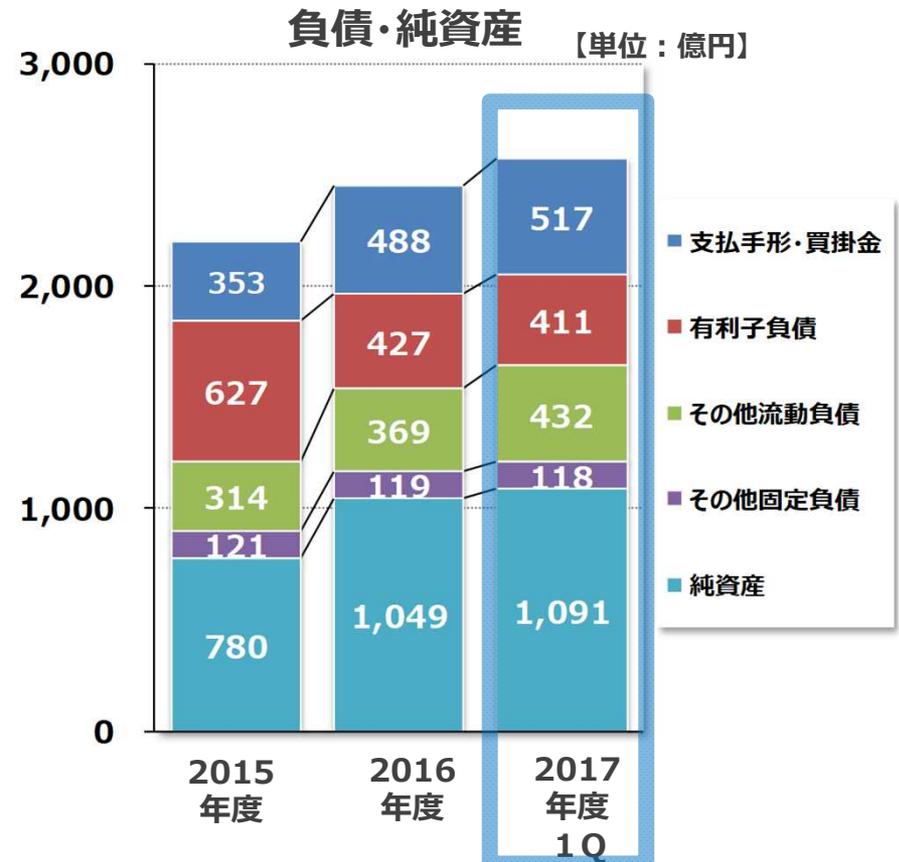
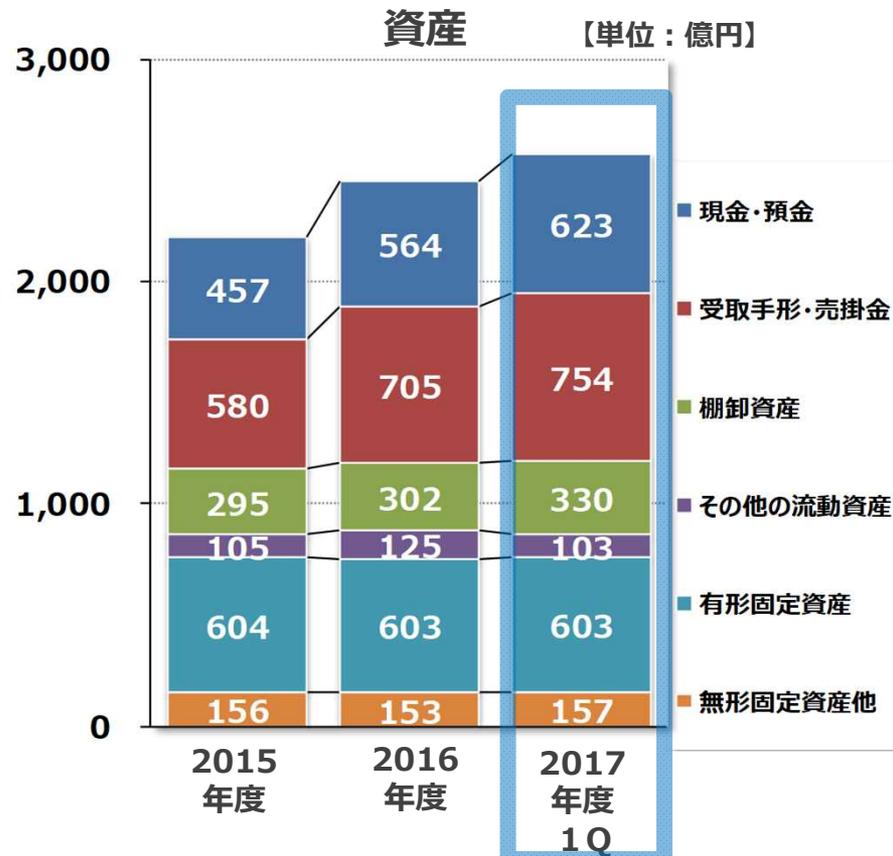
## 営業利益率の推移

【単位：％】



# 2017年度1Q連結業績概要 (連結貸借対照表)

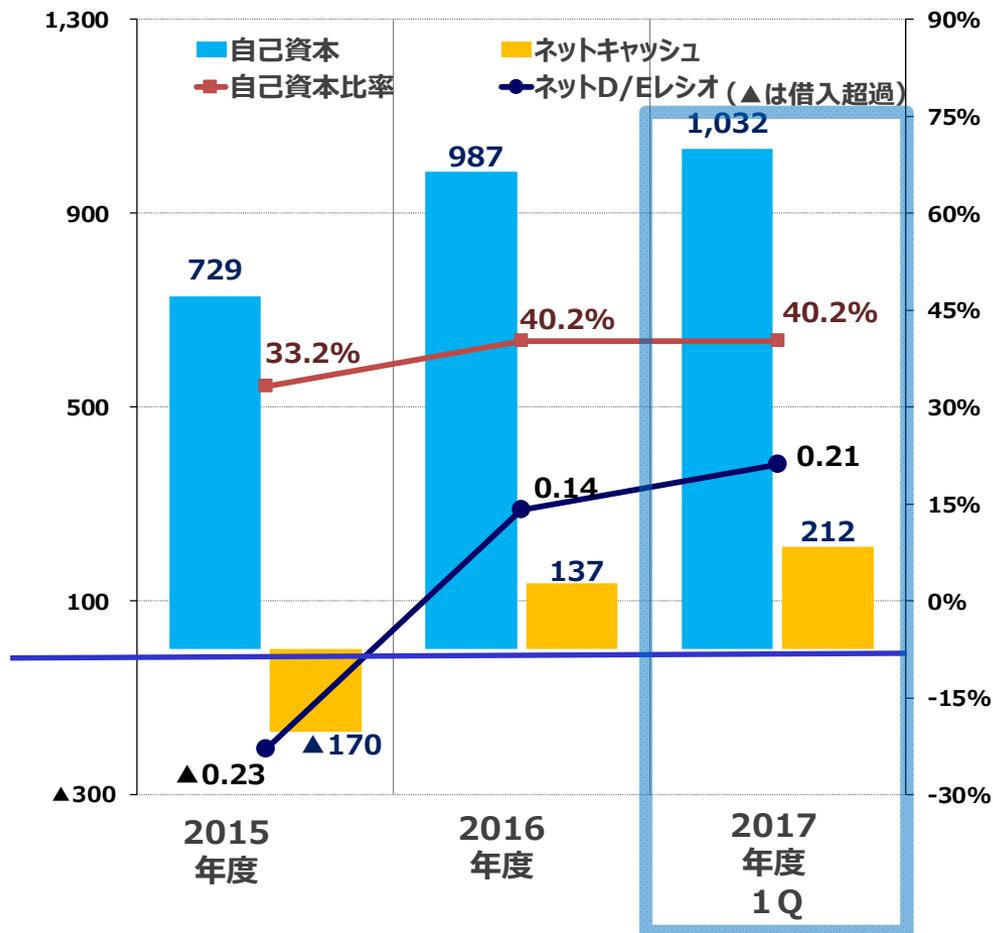
- 受注及び売上増加に伴い、前年度末比で受取手形・売掛金が49億円、棚卸資産が28億円増加
- 同様に、支払手形・買掛金が29億円増加、前受金等の増加によりその他流動負債が63億円増加
- 純資産は42億円増加



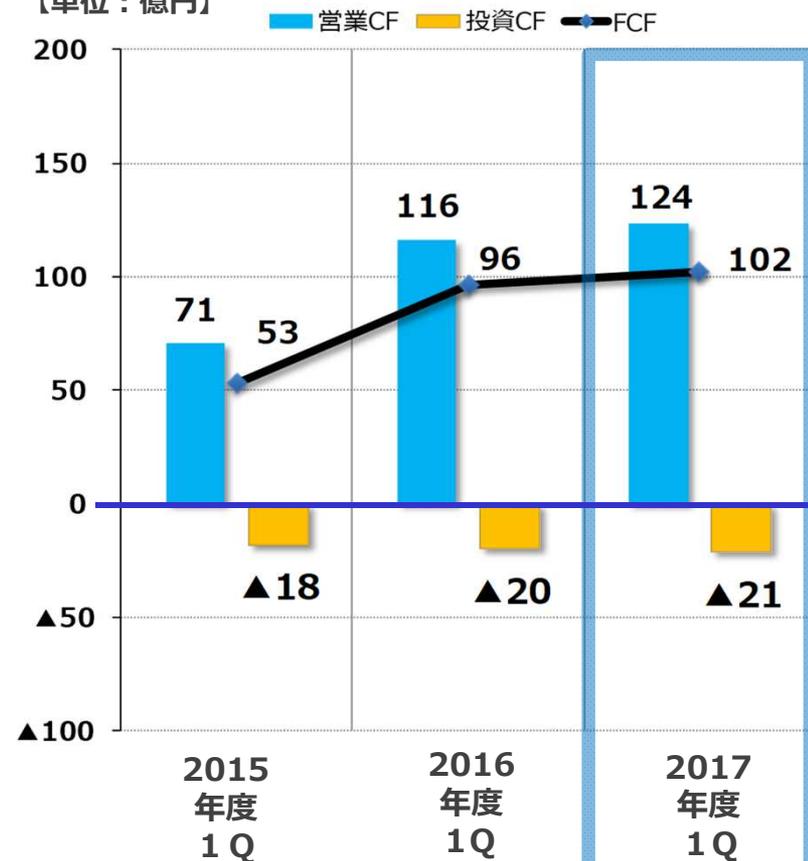
# 2017年度1Q連結業績概要 (自己資本、キャッシュ・フロー等)

- 自己資本は1,032億円に増加。ネットキャッシュは212億円に増加し  
ネットD/Eレシオが0.21まで改善
- 営業CFは124億円、FCFは102億円となった

【単位：億円】



【単位：億円】



# 2017年度業績予想

## 2017年度上期・通期連結業績予想

- 上期は、半導体・電子部品製造装置を中心に売上が、当初予想比増加する見通しとなり、これに伴い各利益項目も当初の予想を上回る見込みとなったことから、各々上方修正
- 通期についても、上期の予想修正を反映して、売上高、各利益項目とも上方修正

【単位：億円】

	2017年度				
	1Q実績	上期		通期	
		当初予想*	修正予想	当初予想*	修正予想
受注高	810	1,400	1,460	2,450	2,510
売上高	609	1,150	1,210	2,390	2,450
営業利益	89	150	170	310	330
率	14.6%	13.0%	14.0%	13.0%	13.5%
経常利益	92	150	170	310	330
率	15.1%	13.0%	14.0%	13.0%	13.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	63	115	135	255	275
率	10.4%	10.0%	11.2%	10.7%	11.2%

\* : 2017年 8月公表値

# 企業価値向上への取り組み

## MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数にアルバック株採用

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数は、MSCIジャパンIMI指数のうち時価総額上位500銘柄の中から環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）（ESG）評価に優れた企業を選別して構成される指数です。

2017年7月3日付で年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のパッシブ運用を行う際のESG指数に選定されています。



## J P X日経インデックス400にアルバック株採用

JPX日経インデックス400はグローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした「投資者にとって投資魅力の高い会社」を選定する目的で、2014年から算出を開始した指数です（8月31日適用）。



## 企業価値向上表彰の候補50社にアルバック選定

東京証券取引所が高い企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する「企業価値向上表彰」の候補50社に、アルバックが選定されました。投資者の視点を意識した企業価値向上経営を実践していることが評価されたものです（8月30日）。



真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる、アルバック  
ULVAC